第２回　学校運営協議会議事録

日時：令和７年 11 月 21 日(金) 16：15～１７：00
場所：本校校長室
出席者：委員　　森田　英嗣（大阪教育大学教授）
　　竹村 伍郎（ＮＰＯ法人 まち・すまいづくり 理事長）
　　古門　真一（同窓会副会長）
　　山崎 晃昭（近畿大学）
　　山崎 希正（大阪府立高津高等学校 ＰＴＡ会長）＜オンライン参加＞
　事務局　寺本　圭一（校長)、島　和広（教頭)、井濱　友輔（首席）
　　尾﨑　知佐子（企画広報部長）　菅　康之（書記）

１．学校長あいさつ
本年度の主だった行事、２年の修学旅行、１年の遠足等もほぼ終えることができたが、
インフルエンザが本校にも蔓延し、１年で３クラスが学級閉鎖となった（11/14～16)。

２．令和７年度「学校経営計画」の進捗状況等について
本年度の取り組み内容について資料の補足を校長が説明。
◎確かな学力と高い志を育み、進路実現を目指す取組の推進
講習・補習の充実について
・１年学習合宿の生徒の満足度は 97.7%と高い数値である。
英語運用能力の向上について
・シンガポール海外研修参加 22 名中１年が 20 名を占める等、新入生の意欲が高い。
海外の学校等との交流の推進について
・アジア高校生サイエンスフォーラム参加者 63 名（昨年 99 名）と昨年より減ったのは、
インフルエンザの影響が大きい。
自主的活動と規律・規範意識の向上について
・遅刻数 10 月末現在 1039 件は昨年より 100 人ほど減っている。特に１年の遅刻数が少ない。
SSH 第Ⅳ期の取組について
・中間ヒアリングについて、滞りなく終了した。

３．質疑応答・討議等
・授業見学の感想
委員：若い先生が多いように感じたが。
教員：40 歳代以上が少ない。20～30 歳代が半数近く、ミドルリーダー（10 年超え経験者）が 7~8 名、
新採用者も毎年複数名入ってきている。

・本年度取り組み内容について
委員：１年が活発なようだが、例年と違ったことをしているのか。
教員：学校説明会などの広報活動は例年と同じ。 昨年度より 100 名程度志願者減となったが、
入学した生徒の学力層は昨年とほぼ同じなので、減った層は私学等に流れたのかもしれない。

教員：東大阪や八尾からが減り、堺など南地区の生徒が増えた。
教員：クラブ加入時期が例年より早い生徒が多かった。
委員：遅刻数が減った理由はあるのか。
教員：今年から１年の遅刻者は一旦担任職員室で入室許可をもらうようにしている。
教員：アンケートの結果 12 時までに就寝している生徒が 320 名程。例年は 200 名程度なので
生活リズムが整っているのが原因の一つであると思う。
委員：1 年に活気があるのは良いこと。高津を希望して入学している生徒が多いからか。
教員：学校説明会も丁寧に行っており、それに参加して本校を理解して入学している生徒が多い。
委員：私は、挨拶運動で何度か学校に来ているが、挨拶も生徒の方からしてくれるのが高津の校風
になっている。

委員：天王寺高校では文楽を学校用鑑賞会でなく本公演で鑑賞している。高津高校は情操・文化教育
は行っているのか。
教員：コロナ前までは年１回で古典芸能、演劇、音楽をローテーションで鑑賞していたが、現在は３年
のみミュージカルなどの本公演を鑑賞している。
委員：文楽の劇場はこの近くにも大槻能楽堂など複数あるので、希望があれば低料金での公演の紹介も
できる。
教員：機会があればお願いします。
委員：高津高校クリエイティブラボセミナーはとても充実した内容だと思う。
「オールドメディア」についての回もあったが、最近、新聞をとっている家庭の数は減ってきている。
高津ではどうか。活字を使って世の中を知ることも大事。
教員：NIE(新聞を教材として用いる学校教育)を行う際、新聞をとっていない生徒のために
学校で新聞をとっている。高津では１クラスで半数ちかく新聞をとっているが、
これはましな方で、普通は１クラスで１ケタくらいである。

・進学実績について
委員：進路指標に京大・阪大・神大と、国公立の合格者数をそれぞれ挙げているが、最近は私学も
いいところが増え、そちらに進学する生徒も増えているのではないか。
教員：最近は地方の国公立に後期で合格しても、近隣の私学に進学する生徒が増えている。
教員：大阪公立大合格者数は本校が日本一多く、希望者も学年の 1/3 近くを占めている。その中には
阪大レベルの子も 20～30 人程いるので、もっと上をめざしてはどうかとアドバイスはしているが、
大阪府民の授業料無償化など保護者の負担を考えると仕方がない面もある。
教員：早稲田の指定校推薦枠もあるが、今年は一人希望者が出たが、昨年は出なかった。
教員：入試制度も多様化し、課題研究やプレゼンを利用した推薦入試もあるが、それに対応する受験対策と
一般入試対策とを両立するのは難しいので、一般入試で受験する生徒が多い。

・学校特色枠について
委員：学校によって異なるのか。
教員：GLHS10 校については、ほぼ同様の内容となるだろう。一方で、エントリーシートを用いることについては、作業も増えるため受験を避けられる可能性もある。

４．事務連絡　　第３回学校運営協議会の日程は令和８年２～３月で予定している。